

所沢市議会議員 谷口まさのり 発行

ツイッターは以下へ
谷口のつぶやきを発信!

谷口まさのり 所沢市政レポート

『2013年9月議会報告編 / 11月10(日)市政報告会ご案内編』

連絡先: 〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話: 04-2941-5111 / FAX: 04-2941-5112

・メール(パソコン): tani.eco@dream.ocn.ne.jp

・ツイッター: twitter.com/#!/taniguchi1965

ツイッターは頑張って更新しております!! ・ホームページ:『谷口まさのり』で検索ください。



谷口まさのり

雪だるま式に増え続ける借金(臨時財政対策債)300億円突破!は大丈夫か?
(仮)総合福祉センターの建設にいくらかかるのか?(25億円?30億円?)

『提案型公共サービス民営化制度』の提言

生活保護『その他世帯』の方に対する新たな就労支援の提言・・・

私、谷口は9月議会において、議案に対する質疑、一般質問において発言致しました。詳細は中継録画をご覧ください。(『所沢市議会』で検索 『所沢市議会 録画中継』
『定例会9月』 9/6質疑、9/18一般質問)

1) 一般質問 (主に市執行部に対し、事業等に関する質問)



① 300億円を突破した『臨時財政対策債』* (以下、臨財債)、総合福祉センター建設費、行政改革等について (要旨)

(谷口): 過去の市税収入 (H19年度から2年毎) 及び長期財政計画でのH27年度の
税収見通しはいくらになっているか?

(財務部長): H19年度は550億円、H21年度は525億円、H23年度は509億円、
H25年度は見通しで501億円、そして、H27年度は499億円である。

(谷口): 借金の1つである『臨財債』の直近3年度末での残高推移は?

(部長): H22年度末は277億円、H23年度末は292億円、H24年度末(決算認定は
今後)は316億円である。

(谷口): H24年度末で、『臨財債』残高が300億円を突破し、そして、臨財債残高
が、一般会計の市借金残高の55%を占めるようになってしまっている。
今後、持続可能な財政を維持すべきという視点から質問を続けるが、来
年度H26年度は総合福祉センターといった大型の起債(借金をする)事業が予
定されている。過去の金額試算では約25億円という数字が残されている
が、想定以上に事業金額、起債金額が膨らまないよう、現在実施設計に入
った段階なので、財政を所管する財務部として、担当部門へ、『特注品を多
く入れれば、建設費も膨らむので、(必要な部分以外は)特注品を使わず、
汎用品を実施設計に落とし込むべき』といった申し入れをすることが重要
と考えるが、いかがか? (ちなみに私は、福祉センターは、障がい者、
高齢者、小さなお子さんなど、様々な方々が利用するので、当然、機能的
にはユニバーサルデザインが必要と考えますが、その他の建物全体自体や空
調設備など、一般的な設備等は汎用品を使うべきで、わざわざ特注品を使
うことになれば、建設費が膨大になると考えております。)

(裏面へ)

(部長)：公共工事については、予算編成方針の中で、コスト削減その他に努めることが明記されている。総合福祉センターについても、基本計画に記載されている総事業費の範囲内で事業を実施するよう、担当部署に話しをしている。

(谷口)：具体的に、『できるだけ汎用品を使うべき』という申し入れをするか否かはどうか？

(部長)：それ(汎用品使用の申し入れ)を含めて、総事業費の範囲内で事業を実施するように、という解釈である。

(谷口)：以上のような状況から、(市全体での)コスト削減、抑制、またその上で、未来への投資資金を生み出す為にも、行政改革のスピードを今以上に早める必要があるのではないかと考えるが、市長の所見を伺いたい。

(市長)：必要なことは、正に持続可能な行財政の確立である。戦略的に改革・改善を行ったつもりであるが、今後も、施策の成果を十分に見定め、『あすを見つめ今を動く』取組みを着実に進めることが重要と考えている。

【*】 **臨時財政対策債**：地方債の一種。国の地方交付税特別会計の財源が不足している為、その穴埋めとして、H13 年度から地方公共団体自らに地方債を発行させる制度。臨時財政対策債の元利償還金は、後年度の交付税に理論的に全額算入されるとはいえ、地方債の残高が累積する原因にもなっている。 ⇒ **谷口の懸念**は『元利償還金は後年度の地方交付税に理論的に全額算入される』と総務省は言うが、交付税の算定方法は毎年度、総務省が変えており、見かけ上、臨時財政対策債部分は全額算入されるかもしれないが、その他の主要部分が減らされることにより、結局、この借金は全額、国が肩代わりするのではなく、地方自治体に負担がくると想定していることである。また安易に借金をする体質になりかねないこともある。

② **その他の一般質問**：◆『提案型公共サービス民営化制度』の導入については、我孫子市がH18年度から実施し、また今年4月から尼崎市も我孫子市を参考にして導入している制度(市側が民営化対象の事業を決めるのではなく、全ての事務事業を対象として、民間側から、民営化可能事業を提案していただく)を政策提言致しました。

◆また生活保護世帯(働ける年代・環境にある『その他世帯』を中心に)の、より実効性のある就労支援については、マンツーマン方式等(その他、面接時に途中まで同行、服装のコーディネートまでも)を盛り込んだ支援(専門法人に委託)の提言、◆エコタウン構想への『+1』(プラス・ワン)については、省エネや自然エネルギー等の技術開発を支援する『実証実験タウン』としての役割追加で、先進性を出す方法の提言を行いました。



『11/10(日)谷口まさのり 市政報告会 開催ご案内』

報告会終了後には会場を変えて会費制で食事をしながらの交流会も予定しております。お気軽にご参加下さい。尚、交流会は、ささやかではありますが、引き続き『東北復興応援企画』として、被災県からの食品を揃えての開催を予定しております。

◆11/10(日) 15:00～17:00 ぐらい(←報告会は無料)
会場：狭山ヶ丘コミュニティーセンターの2F学習室にて(18席)

◆谷口まさのり経歴 ・昭和40年生まれ、埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業 ・栗田工業(環境系)や省エネのコンサル企業に計15年間在籍(技術営業) ・2011年4月 所沢市議選に当選(2,644票、みんなの党 公認) ・趣味等：スポーツ(観戦も)、カラオケ、大のビール党 ・環境カウンセラー(環境省資格)／社会保険労務士(年金・雇用分野の国家資格)